



博物館だより

No. 221 2013. 9

# ミニミニマインズ

## 平成 25 年度第 1 回 鉱業博物館特別展

### 阿仁の絵巻がつむぐ 150 年前の銅プラント

阿仁には 6 つの鉱山があり、銅鉱が採掘されていました。岩石を細かく破碎し、水を入れた鉢の中で鉱物を選び分け、長時間加熱・溶解して、銅の部分と鉄に分けます。この銅を再び溶かして固めたものを粗銅といいます。当館の所蔵する「阿仁鉱山 銅山働方之図」(1864 年)は、阿仁鉱山で行われていた銅鉱石の選鉱・製錬の工程を描いた絵巻です。今回の特別展は、この 8m に及ぶ「阿仁鉱山 銅山働方之図」の全編を鉱業博物館にて公開いたします。

日時:平成 25 年 10 月 1 日(火)~12 月 1 日(日)  
会場:秋田大学鉱業博物館 特別展示室



秋田大学大学院工学資源学研究所  
附属 鉱業博物館  
〒010-8502 秋田県秋田市手形字大沢 28-2 TEL:018-889-2461 FAX:018-889-2465  
公式 HP: http://mus.akita-u.ac.jp

### 標本の紹介 秋田県北部の鉱山産の新鉱物

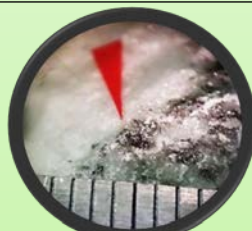
世界で発見された鉱物約 4,500 種のうち、日本で発見された鉱物は 104 種に達しています。今日、新鉱物を発見した場合、国際鉱物学連合(IMA)の新鉱物・鉱物名委員会にて審査のうえ承認されます。

1 年に約 50 種から 70 種が新種として登録記載されています。

鉱業博物館では日本産の新鉱物をたくさん展示しています。その中には、秋田で発見された鉱物も含まれています。今回は秋田県北部の金属鉱山で発見された新鉱物 2 種を紹介します。(下の写真では一目盛り 1 ミリの定規を置いて顕微鏡で撮影しています)

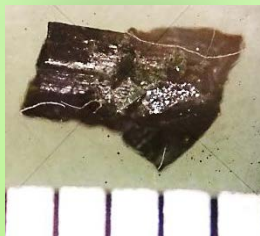
#### 福地鉱 (フクチライト)

秋田県の黒鉱鉱床・花輪鉱山本山鉱床から 1969 年に発見された硫化鉱物。地学事典には帯桃褐色と記載されていますが、実際には鉛筆の芯のような真っ黒です。東京帝国大学の鉱床学者である福地信世さんにちなんで名付けられました。展示物は矢印の先端が指している部分です。



#### 阿仁鉱 (アニライト)

1969 年に阿仁鉱山で産出されたことにちなんで名付けられました。不透明で金属光沢があり、拡大して見ると光沢のある炭のようです。ちなみに地学事典には青灰色と記載されています。展示物はとても小さいです。



平成 25 年度 第 3 回 鉱業博物館  
市民向け開放講座

「資源大国インドネシアの  
省エネルギー戦略と  
地中熱利用冷房」

講師: エミー・スパルカ博士  
(インドネシア・  
バンドン工科大学  
教授、元副学長)



10 月 3 日(木)  
15:30~16:30

鉱業博物館  
無料開放のお知らせ

10 月 20 日(土)・21 日(日)

大学祭&オープンキャンパス  
にあわせて行います。

## 平成 24 年度館内アンケート 集計結果から

鉱業博物館では平成 24 年度の館内アンケートを集計しました。アンケートでは来館者の皆様から叱咤激励、さまざまな声を聞くことができました。わずかではありますが、皆様からの質問・意見について博物館としての回答を掲載いたします。

### 【意見と回答】

「いささか難しい字があるので、ふりがなを付けて頂けるとありがたい」  
→ 現在、標本ラベルにふりがなを加える作業を進行中です。



「夏に来たので暑かった。今度は冷房をつけて欲しい」  
→ 現在のところは 3 階講堂でエアコンを稼働させ、休憩所として開放しています。また各階に扇風機を設置して空気を循環させています。

「展示を説明してくれる方がいるといい」  
→ 当館では、サイエンスボランティアによる展示案内を行っています。ご予約の上、ご利用ください。

「鉱山付近の地質資料を他分野の地質調査に利用したいので、鉱山の文献があれば見たい」  
→ 資料をご覧になりたい方は、受付の職員にお申し付けください。

「テレビ・新聞などのマスコミで宣伝して欲しい」  
→ 昨年からテレビ・ラジオ・観光雑誌での広報を行っております。今後もさらに積極的に広報を行い、皆様に足を運んで頂けるように努力していきます。

お答え頂いたアンケートは今後の博物館の改善に役立たせて頂きます。多くの意見をお寄せ下さい。



期間：平成 24 年 7 月 8 日～平成 25 年 3 月 31 日  
入館者数 5,201 人中回答者 508 人(回答率 9.77%)

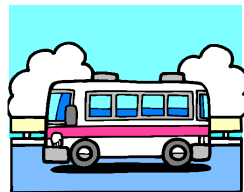


## サイエンスボランティア研修レポート in 尾去沢鉱山



鉱業博物館にお出での際はサイエンスボランティアへ。事前予約してくだされば私たちが博物館を案内いたします。

9 月 14 日(土)、鉱業博物館のサイエンスボランティアの研修が鹿角市の尾去沢鉱山で開催されました。尾去沢鉱山は 1300 年の歴史を誇る日本屈指の鉱山跡です。当日は鉱山坑道の見学や、坑道を貯蔵庫にしたお酒(坑道酒)の説明などが行われました。



## 編集後記

今回の「ミニミニマインズ」は 4 班が編集しました。編集を始めたのは夏でしたが、今はもう秋の香りがしてきます。季節の変わり目ですので、体調管理に気をつけましょう。「学問の秋」「芸術の秋」といいますが、鉱業博物館で秋を楽しむのはいかがですか。ご来館お待ちしております。(鈴木・畠山・嶋田)